



新制 神戸大学 の誕生

— 新制大学発足70周年記念 —



(右上) 角帽と学生バッヂ(1950(昭和25)年制定)
 (右中) 正門から下校する学生たち(1954(昭和29)年頃)
 (右下) 経営学部の講義風景(1953(昭和28)年頃)
 (左上) 御影分校の開学記念祭で踊る学生(1955(昭和30)年)
 (左中) 「神戸大学設置認可申請書」(1948(昭和23)年)
 (左下) 戦災回避の黒塗りが残る六甲台本館(1959(昭和34)年)

2019年

期間／ 10月24日 木 — 11月15日 金 *土・日・祝日も開館

時間／ 9:30-17:00 入場無料

場所／ 神戸大学百年記念館 1階 展示ホール

〔交通案内〕 阪神「御影」駅・JR「六甲道」駅・阪急「六甲」駅から市バス36系統「鶴甲団地」又は「鶴甲2丁目止り」行きに乗車、バス停「神大文・理・農学部前」下車、南へ徒歩約5分

主催／ 神戸大学 大学文書史料室
 (お問い合わせ先／電話 078-803-5035)

【展示案内】 ※展示の見どころをご案内いたします。
 10月30日(水)、11月2日(土)、11月7日(木) (各日12:15~(約30分))



新制「神戸大学」の誕生

—— 新制大学発足70周年記念 ——

今年是新制大学発足70周年にちなみ、1949(昭和24)年に誕生した新制「神戸大学」の黎明期の諸相について、貴重な歴史資料や写真などで振り返ります。皆様のご来場をお待ちしております。

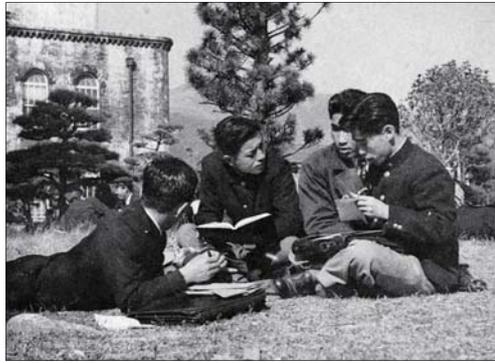


初期の神戸大学正門 ▶

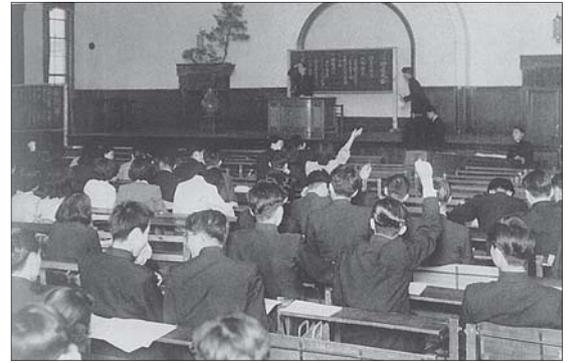
1955(昭和30)年頃。当時の正門の門標は、木製の板に「神戸大学」と筆で墨書されていた。風雨にさらされ文字が薄くなったため、1964(昭和39)年に現在の青銅製の門標が設置された。



▲ 御影分校での「開学記念祭」
1955(昭和30)年。フォークダンスを踊る学生たち。文学部・理学部も同じ学舎だった。



▲ 本を片手に語る学生たち
1956(昭和31)年頃。六甲台本館の前庭では、学生たちがくつろぎながら本を片手に語り合った。



▲ 教育学部(赤塚山)の「学生大会」
1954(昭和29)年頃。学生大会は自治会の最高議決機関であり、就職問題や勉学条件など多様な課題が審議された。



▲ 姫路分校の正門と本館
1956(昭和31)年頃。当時の神戸大学生は、全学部とも入学後1年半は姫路分校または御影分校で教養の授業を受けた。姫路分校は元・旧制姫路高等学校学舎。



▲ 工学部の西代(にしだい)学舎
1961(昭和36)年頃。工学部のキャンパスは、西代学舎と松野学舎の2カ所(ともに神戸市長田区)に分かれていた。



▲ ヘンミ計算尺 No.259 両面型
1957(昭和32)年頃。当時の工学部の学生にとって計算尺は高価な必須アイテムであった。のちに関数電卓の普及により姿を消していく。

◀ 御影分校 × 姫路分校対抗戦の「学長杯」
1959(昭和34)～1961(昭和36)年。



▲ 「神戸大学神戸経済大学」の卒業証書(学士試験合格証書)
1953(昭和28)年3月。1949(昭和24)年に新制神戸大学に包括された旧制神戸経済大学は、正式名称「神戸大学神戸経済大学」となり、1962(昭和37)年3月まで存続した。